

令和8年度 仙台市宮城野障害者福祉センター在宅障害者・一般市民向け事業

「犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくり～特殊詐欺・おうちの防犯対策などについて」を開催しました

令和8年8月11日

仙台市宮城野障害者福祉センター

令和8年8月8日（土）に、「特殊詐欺・おうちの防犯対策などについて」を開催しました。

講師に、宮城県環境生活部共同参画社会推進課安全・安心まちづくり推進班の高澤勝也氏をお招きし、講義には障害当事者9名を含む14名の方に参加をいただきました。防犯に関する資料を配布し、実際の被害事例などのお話をスライドと共に紹介しながら注意喚起を行いました。

特殊詐欺の手口は年々多様化・増加しており、ニセ警察詐欺では被害者に電話をかけ対面せず信頼を得て、指定した預貯金口座へネットバンキングで振込ませる等様々な方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪が発生しています。そして、知らぬ間に特殊詐欺に加担してしまう場合もあるとのことでした。

また、国際電話詐欺なども増えていて、固定電話の場合は60～80代の被害が増加し、スマートフォンの場合は20～30代の被害が増加している。「+（国番号）から始まる国際電話番号に注意が必要で、犯罪に巻き込まれないようにするためには、電話でお金のお話が出たら、一度電話を切って家族や周囲に相談するなど冷静な対応を心がけてほしいと呼びかけました。参加者の皆様から「大変分かりやすかった」「大変勉強になりました」「仙台市内の男子高校生がミャンマーを拠点とする特殊詐欺に加担させられていたとみられ被害があったので、身近で人ごとではないと感じている」などの意見も寄せられました。

特殊詐欺の被害は後を絶たず、被害者・被害額は年々増加していることから、引き続き防犯に関する講義を開催していきたいと思います。

